

今月の学習は物語文が中心になります。物語文で攻略してほしい、心情説明の記述と、物語文における理由説明の記述の考え方についてお話しします。

物語文は、場面の展開を意識しつつ、出来事、心情、行動のつながりに注目しながら文章を読み進めていくことが大切です。この「出来事、心情、行動」という流れには、因果関係があります。ある出来事が起こったことが原因で、心情が生まれます。そして、その心情が何らかの行動を促すのです。ですから、この因果関係に着目して、心情説明や理由説明の設問を解いていくようにします。

心情説明問題は、心情を答えるだけではなく、その心情を持つにいたった、きっかけとなる出来事も説明するようにします。行動や動作、会話文、情景描写の部分から心情をとらえ、何が原因でその心情が生れたのかを考えましょう。行動や動作の部分に傍線が引かれているときは、傍線の前後にある会話文に注目し、きっかけとなる出来事を先に考えてから、そのときの心情を考えるようにするのが、設問を解くときのコツです。会話文のところに傍線が引かれているときは、会話文の直前、直後の地の文のところから心情を先に読み取ってから、きっかけとなる出来事を考えるのがよいでしょう。いずれのパターンも、傍線を含む文脈における会話の流れをとらえることが、心情を読み取るうえで大切になります。誰がどのように発言したことを、誰がどのように受け止めているかを考えるようにしてください。

次に、物語文における理由説明の記述の解法について見ていきたいと思います。物語文の理由説明の記述は、傍線が引かれている部分によって、3種類に分類して考えるようにします。1つ目のパターンは、傍線が「行動、動作」に引かれている場合です。行動や動作の理由を問う問題の考え方は、心情説明の記述と同じ考え方で解けます。それは、初めに説明したように、「出来事、心情、行動」には因果関係があるからです。ですから、「きっかけとなる出来事」と「心情」の2点を説明すれば、解答が完成します。

2つ目のパターンは、傍線が「心情」に引かれている場合です。このときは、どんなときにその心情になるのかを考え、それを本文の内容と照合させて説明するようにします。少しわかりにくいかもしれませんが、例をあげて説明してみましょう。「テストで30点の答案がかえってきて驚いた」という内容について考えてみたいと思います。「驚く」という言葉に傍線が引かれ、なぜ驚いたのかを説明する問題が出題されたとします。さて、みなさんはどのような答案を書きますか。「テストで30点を取ってしまったから」という解答を書く人が多いと思いますが、これでは正解になりません。テストを受けた時に手ごたえがよくなければ、30点という答案が返却されても、驚きませんよね。もっといい点数が取れたと思っていたのに、予想外の点数の低さに「驚く」という気持ちが生れたのですね。つまり、「驚く」という気持ちは、「①予想、想定していたことが、②外れた、裏切られた」ときに生じるのです。このように、どんなときにその心情になるのかを分析して、解答を作成するのがポイントとなります。

3つ目のパターンは、「行動、動作」、「心情」以外のところに傍線が引かれている場合です。このパターンの問題は、前回お話しした説明文、論説文の理由説明と同じ考え方で解くことができます。傍線前後の事実関係を正確にとらえ、理由を考えるようにします。また、会話文や地の文の中に、理由を表す表現がないかに注意することも大切になります。

最後に、各回のポイントをあげておきます。

第1回

詩に描かれている内容を映像化し、具体的な世界をとらえましょう。そのうえで、その詩の主題を考えるようにしてください。主題を読み取るには、題名、表現技法が使われているところに注目することが大切です。

第2回

短歌、俳句の問題は前回の詩と同様、内容を映像化することが大切です。次に、作者が何に感動してその俳句を詠んだのかを考えるようにしてください。感動の中心を表す言葉である「切れ字」に着目してみるとよいでしょう。

第3回

今回から物語文を学習します。今回は場面に注目して設問を解くことがテーマになっています。「いつ」「どこで」「だれが」「どうした」のかに注目し、どこで場面が変化しているのかに気をつけて、文章を読み進めるようにしてください。

第4回

今回は心情説明の問題を中心とした回になっています。傍線が行動・動作に引かれているときは、きっかけとなる出来事を先におさえ、そのうえでそのときの心情を考えるようにすると問題が解きやすくなります。傍線が会話文に引かれているときは、先に心情を考え、なぜその気持ちが起こったのかを考えるようにするとよいでしょう。

第5回

今回は主題を読み取って記述する問題が中心となります。主題は物語の中で起きる「変化」に注目すると読み取れるパターンが大半です。ある出来事をきっかけとして主人公に起こる変化により、主人公がどんなことを考えたり、気づいたりしているかに注目してみましょう。

9月から6年生後期の授業が始まります。12月までで、中学入試に関係する単元を足早にすべてまとめ直していきます。

テキストは、難問テキスト(の中の「運用力」部分)を使用し、特に重要な問題を中心に一部の問題を扱っています。

学習法としては、先に動画を一通り見て、理解した上で、もう一度問題を解き直す...ということを繰り返していく方法と、動画で扱っている問題を確認して(動画においては、必ず問題を読み上げますので、その段階まで見て一旦動画を止めるというのもいいと思います)、一旦自力で問題に挑戦し、その後、動画を見た上で、ご自分がほぼ理解できていたと思われたら次の問題に進み、何らかの間違いがあったり、正解したものの、新しい解法や知識などが展開されたりした場合は、解き直しをする(新しい解法で解いてみる)というステップを入れた上で、次の問題に進むという方法があります。

この、解き直す...という段階を経ることにより、実力が飛躍的に向上していきます。

理想としては、間違ったり、新しい発見があったりした問題については、少し間を置いて(例えば、1週間、1ヶ月など)再度解き直しをするとより完璧になります。

あと、動画がない問題についても、余裕に合わせて取り組んでみてください。この場合は、付属の解答解説を参考に、間違ったところについては解き直しをすることをお奨めします。また、「運用力」の前の「知識技術」は比較的短時間で、その単元の基本的な考え方のかかなりの部分を確認することができますので、合わせて活用してください。

◆第1回 和差に関する文章題

和差に関する色々な文章題に取り組みます。

「知識技術」**10**は、QとSが真横に来るといい、ということがわかれば計算が必要ありません。

「運用力」**8**は不思議な感じがしますが、答えが一通りに決まります。**9**は整数の性質も関係してきます。**14**は1通りに決まります。**16**も過不足算の応用になります。**18**は結構難解ですが落ち着いて整理してみてください。**21**は古典的ですが、定番の問題です。

◆第2回 割合に関する文章題

「知識技術」**21**は範囲を求めることができます。

「運用力」**1**はオーソドックスですが、苦手な人にとってはかなりの難問に感じるかもしれないニュートン算です。**7**は2つの倉庫を合わせて考えてみます。**14**はAとBで微妙に完成する個数の規則が異なることに注意してください。**17**は28日で1セットの規則性で考えます。**24**は意味がわかるでしょうか。**28**は少々奇問ですが、解説をざっと見ておいてください。

◆第3回 平面図形(求積、性質、移動)

「知識技術」 16は色々な学校で出題されています。しっかり見ておいてください。

「運用力」 5は台形として考えます。10は隠れている正方形の辺をすべて書いてみましょう。12は少々複雑ですが取り組む価値はあります。13はしっかり作図できるようになっておきましょう。16は平成の時代によく出されたタイプです。20は自分で作図を完成しなければなりません。21は根気強く取り組んでみましょう。

◆第4回 平面図形(面積比と相似)

「知識技術」 4, 5, 7, 8, 13などのパターンは特に重要です。

「運用力」 8は意外と手こずるかもしれません。14, 15などの正六角形に関する問題はしっかりマスターしておきましょう。24, 25は影のなかなか面白い問題と言えます。26, 29などの反射のタイプもしっかりマスターしておきましょう。

◆第5回 割合(濃さ・商売)

「知識技術」 7のようなタイプはしっかり押さえておきましょう。

「運用力」 9は本質がどこにあるのかわかりにくいですが、しっかり考えてみましょう。16も面白い問題になります。17は5倍の濃縮であれば理論上500%と考えればいいのです。

web 教室◆日能研からのお知らせ 9月号 6年生 理科(合格力完成教室 難問テキスト)

9月から6年生後期の授業が始まります。後期の授業では3種類のテキストの中から、クラスに応じて2種類のテキストを使用して授業を進めていきます。本科灘特、本科選抜(兵庫・豊中)のクラスでは「後期特別テキスト」と「合格力完成教室 難問」を、その他の本科選抜クラス(大阪・京都)では「難関突破問題」と「合格力完成教室 難問」を使用します。

どちらのクラスの場合も、まず自分の力で一度考えてみてください。このとき大切なことは、①「問題文をよく読み、大事な条件にチェックを入れる。」②「与えられた条件をきちんと整理して書き出す。」③「必要な図や表を描くなど、手を動かす。」以上の3点です。これらのことをきちんと行い、論理的に思考してみましょう。しかし、5分以上考えてもわからない、そんな場合はその問題を解くための知識や、解法が欠落している証拠です。前期テキストやノートを見て知識や解法の復習を行ってみましょう。そしてこのweb動画の解法を視聴してください。視聴ののち、もう一度自分の力でその問題を解き直し、解くことができればその解法をマスターできたこととなります。これを繰り返し、解くことのできる問題を一つでも多く増やしていきましょう。

9月の理科は「地層と岩石」「太陽・気象」「天体の動き」「温度と熱・音・光」「電流Ⅲ」の5つの単元を学習します。先にも述べたように、丸暗記するだけではいけません。仕組みや解法をきちんと「理解」しながら進めていきましょう。各コースで必要な問題を以下に記します。なお、web教室では難度の高い「後期特別テキスト」、「難関突破問題」、「合格力完成教室 難問」の「運用力重点問題」を解説していますので、がんばって挑戦していきましょう。

◆第1回 地層と岩石

流水のはたらきや、岩石、化石などの知識を押さえると同時に、地質柱状図や地層のでき方・つながりなどの考え方をきちんと理解していきましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問(選抜は③~⑤)

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題: ① ② ③ ⑤ ⑥ (webでの解説はありません)

運用力重点問題 : ② ④ ⑥ ⑦

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題: 全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題: ① ② ③ ⑤ ⑥ (webでの解説はありません)

運用力重点問題 : ② ④ ⑥ ⑦

◆第2回 太陽・気象

太陽の動きや百葉箱、気象に関する知識を押さえると同時に、太陽が動いて見える理由や緯度・経度と太陽の動きの関係などをきちんと理解していきましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（選抜は1～4）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：2 3 4 5 6 (web での解説はありません)

運用力重点問題：2 3 6 8 10

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：2 3 4 5 6 (web での解説はありません)

運用力重点問題：2 3 6 8 10

◆第3回 天体の動き

星の名まえや星座、月の満ち欠けに関する知識を押さえると同時に、星が動く仕組み（地球の自転・公転）や月が満ち欠けする仕組み（月の公転・地球の公転）をきちんと理解していきましょう。これらを踏まえたうえで、最難関校では惑星の動きや見え方も出題されます。考え方は月の満ち欠けとほぼ同じです。しっかりと学習していきましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（選抜は1、3～6、8）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 5 (web での解説はありません)

運用力重点問題：1 2 4 6 7 8 11

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 5 (web での解説はありません)

運用力重点問題：1 2 4 6 7 8 11

◆第4回 温度と熱・音・光

熱の伝わり方や水の三態変化などと、音の伝わり方や速さの計算（ドップラー効果の計算を含む）、光の作図の問題など、手を動かさなければならぬものが大量に含まれています。必要な条件をしっかりと拾い、図や式をきちんと書いていきましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（選抜は□1～□4）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：□1 □2 □4 □5 □6（webでの解説はありません）

運用力重点問題：□3 □5 □6 □7 □9

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：□1 □2 □4 □5 □6（webでの解説はありません）

運用力重点問題：□3 □5 □6 □7 □9

◆第5回 電流Ⅲ

まめ電球の明るさ、電熱線による発熱、電流と磁界、電磁石とモーターに関する学習で、いずれも仕組みをきちんと理解していなければ問題が解けません。まめ電球をつないだ回路の問題は必ず電流の大きさを回路図に書き込む、電流と磁界の問題は電流の向きも必ず回路図に書き込むなど、問題を解くために必要なことを忘れずに行いましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（選抜は□2～□4）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：□1 □2 □3 □4 □5 □6（webでの解説はありません）

運用力重点問題：□1 □2 □7 □11

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：□1 □2 □3 □4 □5 □6（webでの解説はありません）

運用力重点問題：□1 □2 □7 □11

(合格力完成教室 難問テキスト)

◆第1回 日本の国土・地形・気候

国土の広がりや位置、国土の面積と人口、日本の地形の特色、日本の気候の特色などについて学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

- 1 日本列島を通過する緯線・経線を確認しましょう。
- 2 おもな山地・山脈を覚えているか確認しましょう。
- 3 おもな平野・盆地を覚えているか確認しましょう。
- 4 雨温図の判別ができるかどうか確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

- 1 地形図の読み取りの練習をしてください。

その他の問題も、中にはやや細かな知識を問う問題もありますが、答え合わせをして確認しておきましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

- 2 部分図の確認をしっかりとこなしてください。
- 3 地形図の読み取りをしっかりとこなしてください。

④「栄冠への道」

第1回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第2回 日本の農水産業 I

日本の農業について学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

- 1 米・野菜・畜産の生産額のうちり変わりを確認しましょう。
- 2 米の生産についてのできごとを確認しましょう。
- 3 各地の特色ある農業のようすを覚えているか確認しましょう。
- 4 おもな農産物の都道府県別とれ高を覚えているか確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

- 3 米づくりの手順を確認してください。
- 5 農産物の輸入相手国について確認してください。

その他の問題も、中にはやや細かな知識を問う問題もありますが、答え合わせをして確認しておきましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

- ② 畜産物の生産の都道府県別の割合を確認してください。
- ⑤ 今後の日本の農業について考察しておいてください。模範解答をよく読んでおいてください。

④「栄冠への道」

第2回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第3回 日本の農水産業Ⅱ

日本の食料自給率と水産業についてについて学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

- ① 農業就業人口の様子を確認しましょう。
- ② 食料自給率のだいたいの数値を覚えているか確認しましょう。
- ③ 漁獲量の移り変わりや輸入水産物の相手国を覚えているか確認しましょう。
- ④ おもな漁港とその特色を覚えているか確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

- ②・③ 漁業別漁獲量の移り変わりを確認してください。
- ④ 問5をしっかりと確認してください。

その他の問題も、中にはやや細かな知識を問う問題もありますが、答え合わせをして確認しておきましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

- ① 家畜の飼育頭羽数が多い都道府県の確認をしっかりとこなしてください。問9のような形式の問題にも慣れておいてください。
- ③ おもな漁港は部分図でも分かるようにしておいてください。

④「栄冠への道」

第3回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第4回 日本の工業Ⅰ

日本の工業生産の様子についてについて学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

- ① 戦前、戦後の工業生産の変化を確認しましょう。
- ② 製鉄所や各種工場の分布図を判別できるか確認しましょう。
- ③ 自動車の国内生産と輸出のだいたいの割合をグラフから確認しましょう。
- ④ おもな伝統的工芸品とその産地がある都道府県を覚えているか確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

- ① 自動車の生産の手順を確認してください。
- ② 各工業の特色をしっかりと確認してください。
- ⑤ おもな工業都市の特色をしっかりと確認してください。

その他の問題も、中にはやや細かな知識を問う問題もありますが、答え合わせをして確認しておき

ましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

1 おもな伝統工芸品とその産地のある都道府県の確認をしっかりとこなってください。

3 問4のグラフの問題はよく出題されます。

④「栄冠への道」

第4回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第5回 日本の工業Ⅱ

おもな工業地帯・地域と公害問題について学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

1 各工業地帯・地域のグラフを必ず確認しましょう。

2 太平洋ベルトに位置するおもな工業都市を覚えているか確認しましょう。

3 中京工業地帯の生産額が1位であることを確認しましょう。

4 四大公害病の発生地帯と原因は必ず覚えておきましょう。

②「知識・技術確認問題」

1 工業地帯・地域の生産額割合のグラフを判別する練習をしてください。

2 人口100万人以上の都市を確認してください。

5 公害・環境問題は確実に得点できるよう問題をよく復習しておいてください。

その他の問題も、中にはやや細かな知識を問う問題もありますが、答え合わせをして確認しておきましょう。

③「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

④「運用力重点問題」

2 公害・環境問題の確認をしっかりとこなってください。

3 自動車生産の様子についてしっかりと確認してください。

④「栄冠への道」

第5回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

(関西精選テキスト)

◆第1回 日本の国土・地形・気候

①「関西精選テキスト(地理)」の学習

地形図の読み取り、国土、気候グラフの判断などを学習します。

- 1 地形図を読み取るための知識を確認します。
- 2 日本の島に関する知識を確認します。
- 3 日本の気候区の特徴と雨温図を判断する基本問題です。
- 4 気候に関する各種グラフを判断する応用問題です。
- 5 自然災害に関する知識を確認します。
- 6 近年の日本の災害に関する知識を確認します。
- 7 日本の祭りに関する知識を確認します。
- 8 沖縄に関する問題です。
- 9 北海道に関する問題です。
- 10 日本の国土に関する応用問題です。
- 11 日本の地形に関する応用問題です。

◆第2回 日本の農水産業Ⅰ

①「関西精選テキスト(地理)」の学習

農業に関する知識、統計問題を学習します。

- 1 稲作に関する基本問題です。
- 2 野菜の生産に関する基本問題です。
- 3 畜産に関する基本問題です。
- 4 農業産出額に関する知識を確認します。
- 5 農業の各種知識を確認します。
- 6 農業の統計に関する応用問題です。
- 7 東北地方の農業に関する知識を確認します。
- 8 世界の米と小麦の生産量の多い国を確認します。
- 9 九州地方の農業に関する知識を確認します。
- 10 農業の統計知識を確認します。

◆第3回 日本の農水産業Ⅱ

①「関西精選テキスト(地理)」の学習

水産業・自給率に関する知識、統計問題を学習します。

- 1 水産業に関する基本問題です。
- 2 日本の漁業に関する基本問題です。
- 3 日本の漁業の統計に関する応用問題です。
- 4 水産業に関する難度の高い知識を確認します。
- 5 日本の漁業の種類や養殖についての応用問題です。

- 6 自給率に関する基本問題です。
- 7 日本の国土や農業と自給率に関する知識を確認します。
- 8 自給率や食糧の輸入に関する応用問題です。
- 9 日本の農業や自給率に関する応用問題です。

◆第4回 日本の工業Ⅰ

①「関西精選テキスト（地理）」の学習

日本の工業に関する知識、工業の統計問題を学習します。

- 1 工業の分類に関する知識を確認します。
- 2 製鉄業に関する知識を確認します。
- 3 石油化学工業に関する知識を確認します。
- 4 輸送機械工業に関する知識を確認します。
- 5 日本の工業に関する知識を確認します。
- 6 都道府県別の工業に関する知識を確認します。
- 7 広島県と香川県の工業統計を考える問題です。
- 8 日本の伝統工業や地場産業に関する知識を確認します。
- 9 関東地方の統計を考える問題です。
- 10 愛知県に関する工業の応用問題です。
- 11 日本の工業地帯・地域に関する基本問題です。
- 12 日本の工業地帯・地域の統計を考える問題です。
- 13 日本の公害に関する知識を確認する問題です。

◆第5回 日本の工業Ⅱ

①「関西精選テキスト（地理）」の学習

世界・地球環境・商業・通信などについて学習します。

- 1 世界の地形に関する知識を確認します。
- 2 東南アジアに関する知識を確認します。
- 3 インバウンドに関する知識を確認します。
- 4 国旗に関する知識を確認します。
- 5 中国・サウジアラビア・オーストラリアに関する知識を確認します。
- 6 中国に関する知識を確認します。
- 7 アジアの国に関する知識を確認します。
- 8 日本と関係が深い国々についての応用問題です。
- 9 ヨーロッパの国々についての知識を確認します。
- 10 環境問題に関する知識を確認する問題です。
- 11 地球温暖化に関する知識を確認する問題です。
- 12 世界遺産に関する知識を確認する問題です。
- 13 商業や情報についての応用問題です。